

ホタテガイ養殖管理情報

稚貝分散は11月までに終わらせるようにしましょう

1 海況

10月6日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1、2のとおりです。

中層の水温はほとんどの地区で21℃台となっており、21℃を下回る所も見られてきました。

2 稚貝の状況について

9月29日に久栗坂実験漁場、10月3日に川内実験漁場で稚貝分散を行いました。測定結果は表1のとおりです。

平均殻長は久栗坂実験漁場で19.2mm、川内実験漁場で22.7mm、へい死率は久栗坂実験漁場で0%、川内実験漁場で3.5%でした。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 1段当りの収容枚数が多いと成長の悪化や、異常貝の増加によるへい死につながるので、適正な収容枚数（1段当り15枚）を心がけて作業してください。
- 分散が遅れることでも稚貝の成長の悪化や、異常貝の増加によるへい死につながるので、作業は11月までに終わらせるようにしましょう。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

4 新貝の養殖管理について

中層の水温が20℃を下回るのは、早い所で今週末になる見込みですので、玉付け・籠換え・掃除といった作業の準備を進めてください。

5 その他

水温は地区によって異なるので、作業の前には必ず陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）で水温を確認してください。

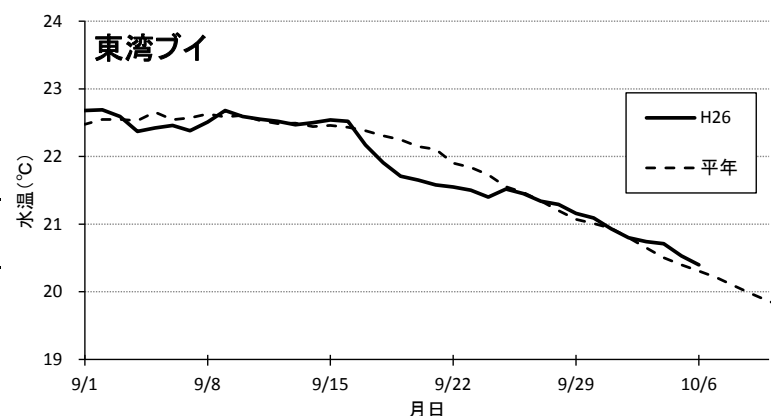
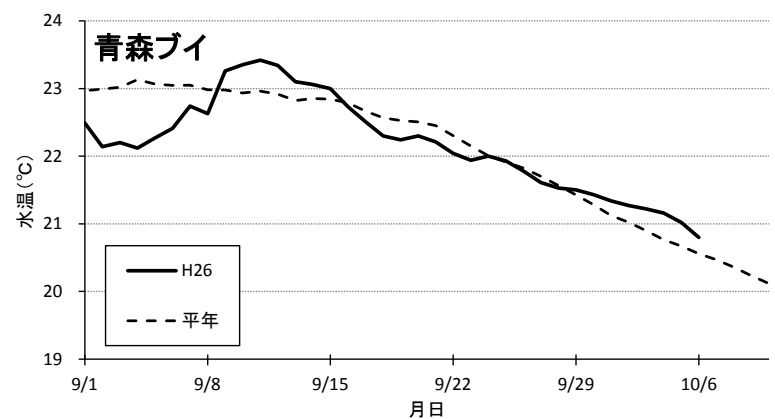
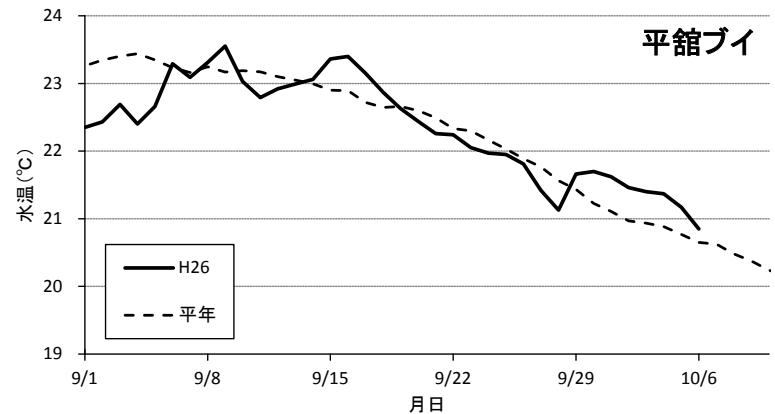


図1 海況自動観測ブイでの15m層の日平均水温の変化

表1 稚貝分散時の稚貝の状況

調査場所	久栗坂実験漁場	川内実験漁場
調査月日	9月29日	10月3日
幹綱水深(m)	15	15
稚貝採取時期	8月8日	8月21日
採苗時の篩の目合(分)	2	1.8
分散時の選別機の目合(分)	6~7	7
へい死率(%)	0.0	3.5
平均殻長(mm)	19.2	22.7



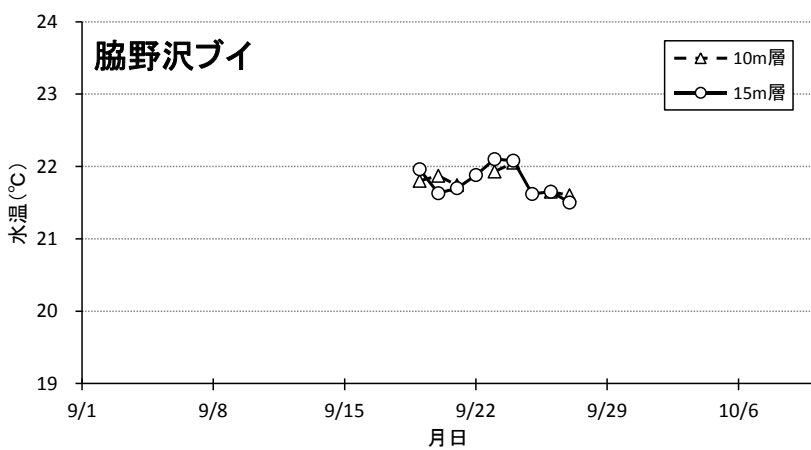
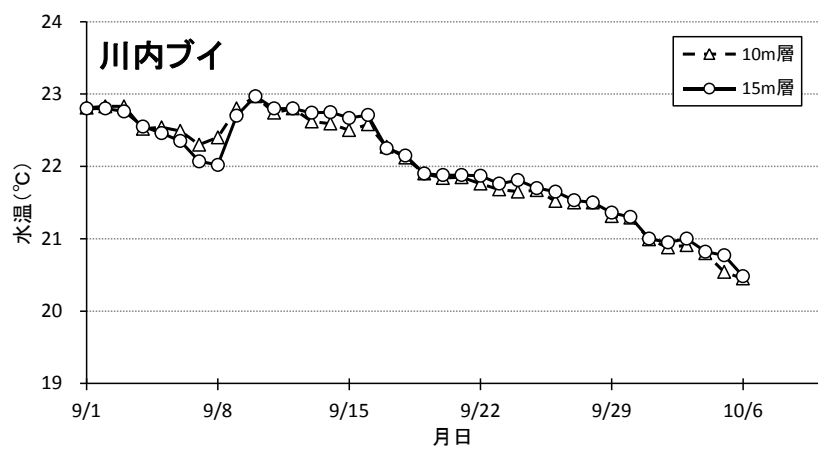
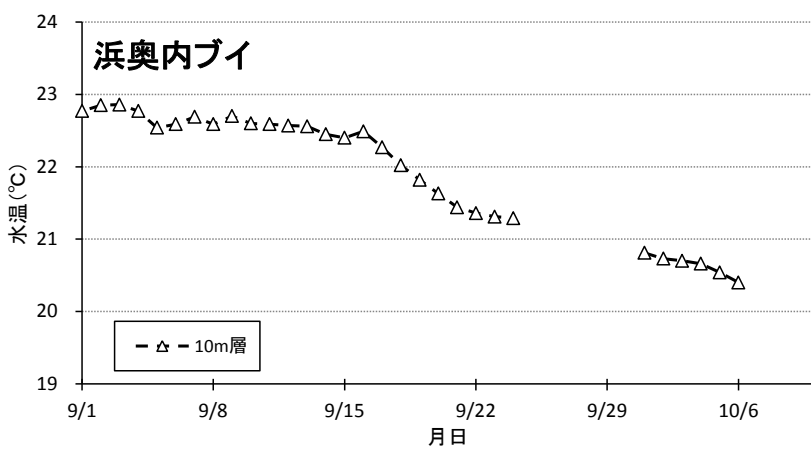
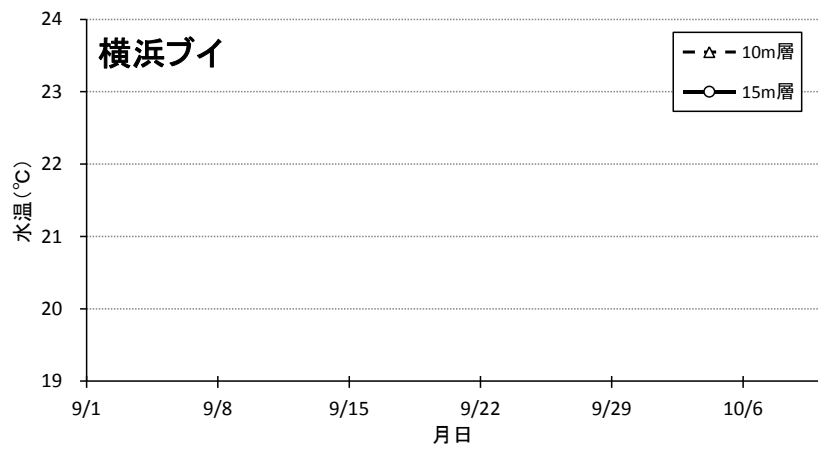
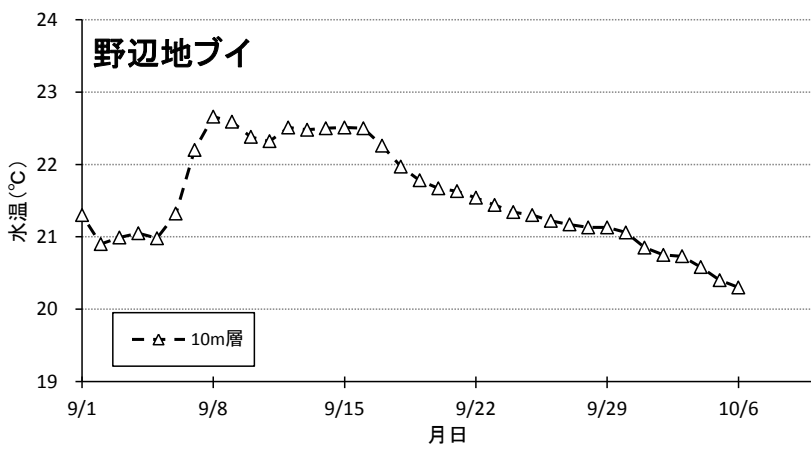
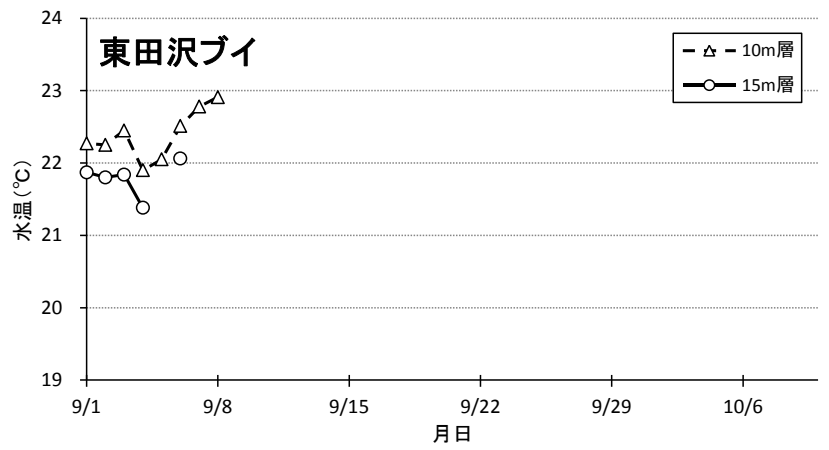
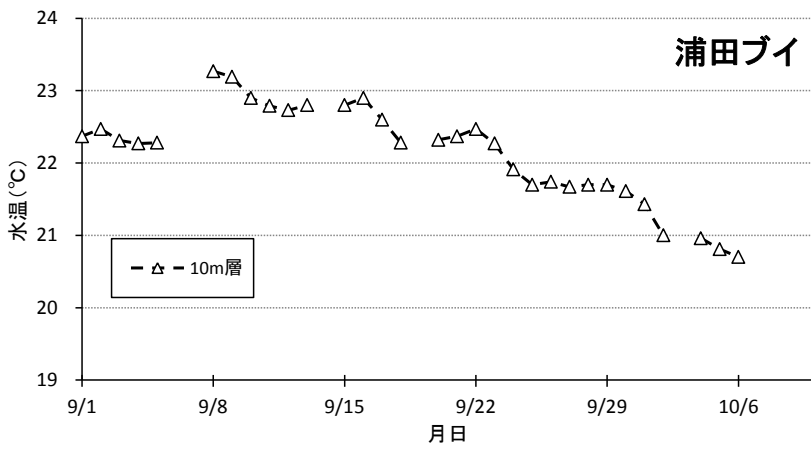
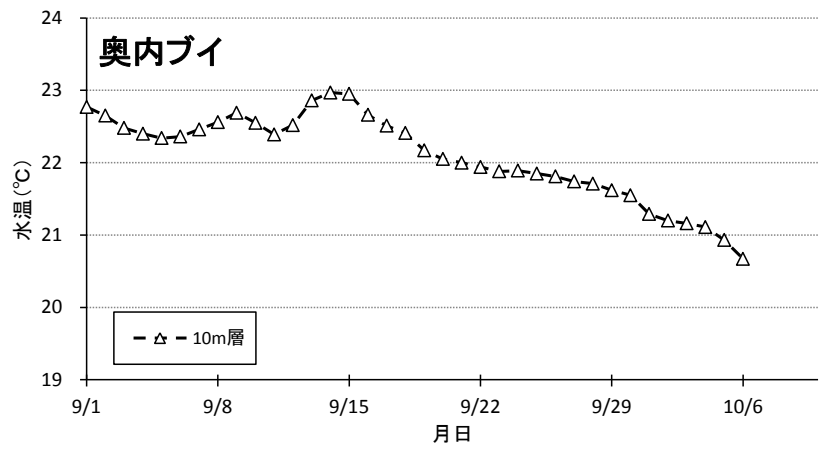
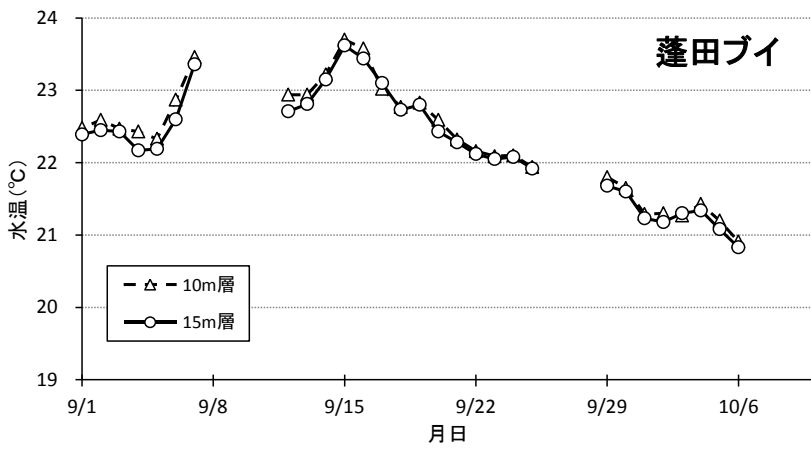


図2 水温観測ブイでの中層（10～15m層）の日平均水温の変化